



GLクラブ活動情報

味噌汁プロジェクト 今年の活動がスタート！

5月20日から地域交流の一環として「一杯の味噌汁プロジェクト」が始まりました。昨年から続けている交流で、大豆の種まきから最後は収穫して味噌を作っていくまでの交流活動です。メンバーは太田地域のお子様を持つお母さんと太田周辺の地区から約10組の親子が集まって無農薬・無添加の味噌作りをします。大豆を作る場所は太田分校の圃場を使って、GLメンバーと一緒に種まきの仕方や管理の仕方などを一緒にいきます。主に土曜日が一緒に活動をしますが、平日はGLの生徒たちが管理をします。最近の食品はどのような作り方をしているのか、どのような物が入っているのか、消費者にしてみるとよく知らされていない部分があります。小さなお子さんを持つお母さんにしてみると安心できる食品の一つでも多く与えたいという思いもあり、朝の食事で欠かせない「味噌汁」を一から作ることで「食育」をみんなで考え実践する良い機会となっています。私たちGLメンバーもその考えに賛同し、一緒に学びながら活動しています。初日は味噌用大豆「りゅうほう」をペーパーポットに蒔きました。その後6月3日に圃場に移植を行い、10日に直まきも行いました。



参加者とGLメンバー



仲良く種まき



ダイズをこぼしてしまった～。きれいなダイズ畑です。

農場の様子

○分校の畑には野菜がたくさん植えられました。まもなく収穫が始まるキャベツやレタス、今年一番早く植えたジャガイモは花が真っ盛りです。ジャガイモはナス科の野菜で、花はナスの花にそっくりです。花の後は「ナス」がなりませんが食べられません。オクラやナス、ネギなども所狭しと畑を賑やかにしています。来週は枝豆を移植します。それ



ネット栽培のキャベツ



ぞれまだ時間はかかりますが、おいしい野菜になると思います。今年栽培する枝豆は「ほのか」と「だだ茶豆」の5号と7号です。

農産物販売情報



○いよいよ無農薬野菜の販売が近づいてきました。約2ヶ月ほど野菜の販売が出来ませんでした。キャベツとレタスの販売が来週あたりからできそうです。低温が続いて生育の遅れを心配しましたが、先週の数日間の好天で一気に成長しました。色合いも良く、とてもおいしそうです。キャベツは農薬や化学肥料を使わず、ネットをかけての栽培です。分校の自信作です。お楽しみに！

○春の花苗は終了しましたが、今週から初夏の草花苗を販売します。先号の農場だよりで紹介したペゴニアのプラグ苗をビニールポットに移植して育てた苗です。GLの生徒たちが、約1700の苗を一生懸命移植し育てました。色は白とピンクと赤の三色です。今植えると秋まで楽しめます。プランターや花壇に植えてお楽しみください。値段は1苗（1ポット）70円です。まとめて3苗（3ポット）で200円で販売します。色はミックスでもかまいません。生徒たちが販売にも出向きますが、直接学校へおいで頂いてもかまいません。お早めどうぞ！



農業コースの取り組み

害虫防除と駆除の目的で、今年度天敵を使っての栽培を試みています。アブラムシやコナジラミといった、温室やハウス栽培にとっては病気も媒介することでやっかいな害虫です。無農薬栽培を研究する分校にとっては死活問題でもあります。そこで、今年度は天敵生物と捕虫トラップでどのような効果があるのか実験をします。初めてのことで私たちにとっても研究のしがいがあります。経過については今後も報告致します。



<天敵剤>【害虫に産卵・捕食等】
チリカブリダニ剤（ハダニ用）、ナミテントウ剤（アブラムシ用）、アブラバチ剤（アブラムシ用）の3種を散布。
<トラップ>【害虫の習性を利用するトラップ。色で引き寄せて捕虫】
黄色と青色の粘着シートと粘着テープ。黄色はコナジラミやアブラムシ有翅類、ハモグリバエなど、青色は主にアザミウマ類に対する捕虫効果があるようです。変化が現れるのは3週間前後です。



